

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

1	表題(課題)名	飛砂堆積量把握マーキング	
2	工事(業務)名	R3 信濃川下流管内CCTV設備更新工事	
3	受注者名	双峰通信工業株式会社	
4	工期	令和 3年 7月17日 ~ 令和 4年 3月25日	
5	担当技術者(立場)名	主任技術者・現場代理人	(よしい ひろし) 吉井 宏
6	担当主任監督(調査)員	建設専門官	
7	課題区分名	⑨その他	(創意工夫)
8	工事(業務)概要	海岸監視用CCTVカメラ更新工事。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>・五十嵐浜CCTV設備に附帯する既設コンクリート柱には飛砂が2.2m堆積していた。 またコンクリート柱に装柱されていた一部の機器は飛砂堆積により扉の開閉が困難な状況であった。 今後、飛砂の堆積により機器運用に支障が及ぶ恐れが十分考えられるため砂がどの程度堆積したのか目視である程度把握出来る様に工夫を行った。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>・飛砂の堆積量が目視で判断出来る様にコンクリート柱の地際から1mの高さに赤いラインと「1m」の文字を入れました。</p>		
11	【実施結果】		
	<p>・現在、飛砂の堆積はさほど有りませんが今後年数を重ねていくと飛砂の堆積が十分考えられます。今回は目視で砂の堆積量を把握出来る様に工夫を行いました。今後の課題としては定期的に飛砂堆積量を確認し取り除く仕組みを構築することが必要だと考えます。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

施工前の更新設備の状況（五十嵐浜CCTV）



全景写真



拡大写真

飛砂堆積により扉が開かない状態
※赤丸内、機器が飛砂に埋没している



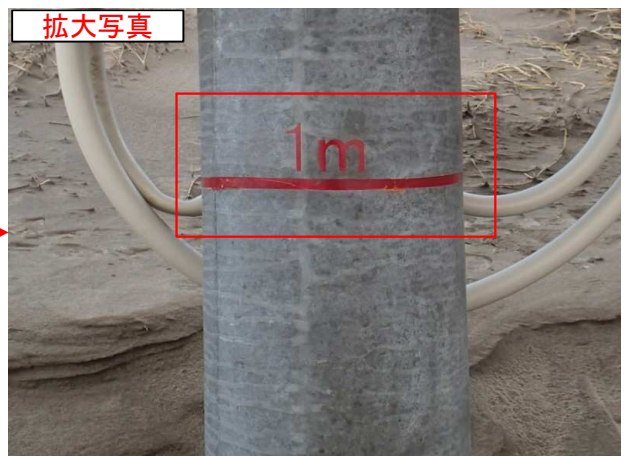
飛砂により埋没した設備



地際より高さ1mに赤マーキング実施



現在のCCTV柱の飛砂堆積状態
※赤丸内、今回の創意工夫



拡大写真

1mの高さに赤ラインと文字入れ状況